

3 学校経営方針

大謝名小学校教育目標

総括目標：一人一人の個性が生き、豊かな人間性と創造力に富む心身共に健全な児童の育成
教育指針：子ども一人一人を大切にし、よさや可能性を伸ばす教育の推進

1 学校経営の基本理念

◎ 安全・安心で笑顔を生む楽しい学校

→生徒指導機能（自己決定の場・自己存在感・共感的な人間関係）を発揮した経営を行う。
※まずは、教師の笑顔とやりがい、そのことが子どもの学びの姿に反映される

◎ 自ら「気づき・考え・実践する」ことで子どものより良い変容をめざす学校

→「統一・徹底・連動・評価」の効果を高める共通実践を学年担任の発想で行う。
※行動主体は、まず教師、感化された子ども、保護者である。

2 学校経営方針

目標管理型評価システムの構築・推進で、学校経営、学年・学級経営に一貫性を持たせ、**全職員の参画（ボトムアップ）**の下、“チーム大謝名”としての組織における一人一人個別の取組を最終的に学校の成果となるよう一人一人の実践充実と組織的取組の活性化を図る。

◎ より良い同僚性を発揮し「やりがいのある職場」、子どもにも教師にも「学びがいのある学校」

3 本年度の重点目標

◎ 「基本的な生活習慣」の定着：

当たり前のことが当たり前でできる“スーパー大謝名っ子の育成

本校において、子どもの基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力・気力の低下、生徒指導上の問題を引き起こす最大要因と考える。

そこで、学校生活における支持的風土のある学級経営を基盤として集団生活を円滑に送るためにも身に付けるべき最も基礎的で重要な「基本的な生活習慣」の定着こそが、本校の課題である「学力向上」「生徒指導 欠席傾向」の解決につながるものである。

そのために、当たり前のことが当たり前でできる“スーパー大謝名っ子”の育成を全校体制で取り組み、その合言葉を「6年生を見習いなさい」として展開する。

◎ 「社会に開かれた教育課程」：

地域協働学校（コミュニティ・スクール）としての教育活動の推進

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を作るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容を明確にしなが、社会との連携・協働によって「信頼される学校づくり」の実現を図る。